

## 「ペストロジー」投稿規定

1. 本誌は日本ペストロジー学会の機関誌である。この会の設立目的（ねずみ・衛生害虫、その他生活および産業上の有害・不快生物の防除に関する学問の進歩並びにその応用技術の向上を図ること）にかなう総説、原著、短報、事例報告、資料、雑報などを掲載する。投稿する原稿は未発表のもので、他誌に投稿中ではないものに限る。

原稿の範囲について：

- a) 総説：専門分野の既存の研究成果・現況・展望を文献などにより総括し、解説したものとする。
- b) 原著：独創的な内容で、価値ある新知見とそれらの論考をまとめたものとする。
- c) 短報：新しい事実や価値ある内容を含む論文、あるいは速報的価値のある論文で、比較的短いものとする。
- d) 事例報告：現場で得られた有害生物に関する興味深い事例や防除方法の工夫や改良などで得られたものとする。
- e) 資料：価値ある観測・観察・実験結果などとする。
- f) 雑報：ニュース、意見、書評、シンポジウム報告などとする。

2. 投稿者の筆頭著者、または責任著者（corresponding author）は、名誉会員および正会員に限る。それ以外の者が筆頭著者、または責任著者となる場合には、学会正会員として入会するものとする。なお、本会が依頼した原稿はこの限りではない。共同執筆者には会員以外のものを含むことができる。

3. 原稿（1. fを除く）は必ず原稿執筆要領に従うものとし、原稿の採否は査読を経た後、編集委員会で決定する。
4. 投稿原稿の校正は、初校のみ著者校正とし、以降は編集委員が行う。
5. 総説および原著は、原則図表を含め刷り上がり8ページ以内、短報、事例報告等は3ページ以内とする。アートページ、カラー印刷代は、原則実費を著者負担とする。
6. 別刷りは筆頭著者、または責任著者に50部を贈呈するが、それを超える分については実費を著者負担とする。
7. 原稿は、右記送付アドレスに原稿送り状（ホームページよりダウンロード可能）と共に電子メールの添付書類で送付する。電子メールが利用できない場合は、原稿2部（1部はコピー可）に本誌巻末の「ペストロジー原稿送り状」を添えて、奥付の編集事務局に送付する。

### 原稿執筆要領

- ① 和文原稿は原則としてMS Wordなどで作成し、A4判の用紙をタテ長に使用して、上下左右を3cmあけて、1ページ40字×25行、和文用文字はMS明朝、英数字用文字はCenturyのそれぞれ10.5ポイントを用いる。句読点は全角の「、」と「。」を使用する。英文原稿もMS Wordなどで作成し、A4判をタテ長に使い、ダブルスペースの間隔をとり、左右上下を3cmあける。
- ② 表、図、写真はできるだけ少数にとどめ、それぞれA4版1枚ずつに分け、本文とは別にまとめて原稿末尾に添付する。挿入場所を本文中に赤字で示す。

③ 和文原稿では、a 表題、b 著者名、c 所属・住所、d 英文表題、e ローマ字著者名、f 英文所属・住所、g 6語以内の日本語ならびに英語キーワード、h 英文Abstract（短報、事例報告はなくても可）、i 本文（緒言、材料および方法、結果、考察、摘要、謝辞など）、j 引用文献の順序で記述する。英文原稿では、和文摘要を本文の後に付ける。なお、すべての原稿中央下に通しページを付け、原稿左側に通し行番号を付ける。

④ 動植物の和名、外来語はカタカナとし、数字は算用数字を用いる。本文中の学名（属・種・亜種）はイタリックに指定し、本文中の初出では属名を完全表記し、2回目以降は属名を略記する。

⑤ 英文表題、Abstract、本文、引用文献等における英単語は、行をまたがらないようにする。

⑥ 引用文献は本文に示したものに限り、筆頭著者のアルファベット順に配列し、以下の例に従い記述する。

林 晃史、篠永 哲（1979）ハエ生態と防除、210pp. 文永堂、東京。

平尾素一（2000）防除作業の安全衛生管理。「住環境の害虫獣対策」（田中生男ら共編）、328-340. 日本環境衛生センター、川崎。

Pedigo, L. P.（1989）Conventional insecticides. “Entomology and Pest Management”（ed. Pedigo, L. P.）, 359-412. Macmillan Publishing Company, New York.

Silverman, J. and M. H. Ross（1994）Behavioral resistance of field-collected German cockroaches（Blattodea: Blattellidae）to baits containing glucose. J. Environ. Entomol., 23: 425-430.

谷川 力、谷口信昭、荒川 治、内田明彦（2001）ワルファリン抵抗性クマネズミに対するフロクマフェンの殺鼠効力。ペストロジー学会誌、16: 95-99.

東京都福祉保健局（2013）東京都におけるねずみ・衛生害虫等相談状況調査結果。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kankyo/eisei/nezukon/>（2013.7.1.確認）

⑦ その他、不明な点は、学会誌最近号を参照すること。

### 原稿送付先

- 1) 電子メール；<[pestology@bunken.co.jp](mailto:pestology@bunken.co.jp)>  
紙媒体の場合は、奥付の編集事務局に郵送。
- 2) なお、原稿を編集事務局で受領した場合は、事務局より「原稿を受領した旨」の連絡を、受領番号と共に投稿者に送るので、それをもって正式な受付とする。

### 付則

- 1) 本規定の変更は編集委員会の議決による。
- 2) 著作権は日本ペストロジー学会に帰属する。
- 3) 本規定は平成24年2月に改訂された。
- 4) 本規定は平成25年12月に改訂された。
- 5) 本規定は平成29年2月に改訂された。
- 6) 本規定は平成29年7月に改訂された。